

令和2年度 第一回 田辺市文化財審議会 議事録（要旨）

日時：令和2年10月7日（水）10時～11時45分

場所：田辺市民総合センター 2階 交流ホール

出席委員 16名

事務局 9名（各教育事務所4名含む）

開会

教育委員会あいさつ

職員の紹介

議事

（1）指定文化財の答申について

①「三栖組大庄屋真砂家屋敷跡」

○調査報告

- ・真砂家の歴史と屋敷地を調査した結果、史跡として指定相当であると評価される。

○審議・質疑

- ・指定については土地であるが、建物とセットという考え方もあり、建物についても、指定対象と思われる。今後、検討が必要である。

「三栖組大庄屋真砂家屋敷跡」を指定するよう答申された。

※地元及び所有者からは、現状は建物の保存は困難であるという意向が示されているが、可能な限り保存の努力をしていただくよう依頼する。

②「木守の風穴」（昨年度答申されているが、指定範囲の整理が条件）

○追加調査等の報告

- ・風速調査
- ・温風穴（上部の風穴）の調査を実施したが、未確認。継続して行う。

○審議・質疑

- ・温風穴の指定は見送り、冷風穴（下部の風穴）を指定するのはいかがでしょうか。
- ・温風穴は今後、追加指定する。

「木守の風穴」を指定するよう答申された。

③「梵鐘」（上秋津千光寺）

○調査報告

梵鐘の概要、作者、願主、製作年代等を調査し、美術工芸品（工芸品）として指定相当であると評価

○審議・質疑

- ・梵鐘と文献が一致している。
- ・模様は陽刻だが銘文は陰刻である。
- ・市内で最古のものであると考えている。

「梵鐘」を指定するよう答申された。

（2）指定文化財の諮問について

①左向谷迫戸の砂防堰堤

○事務局より諮問書の提出

- 補足・質疑
特になし
- 審議会委員に調査委員を依頼し、3名の委員を任命。

(3)「田辺市文化財保護に関する建議書」

- 文化財審議会検討委員会より報告
小委員会の経過報告、建議書の内容について説明
- 審議・質疑
特になし

建議書を教育委員会に提出することとなった。

報告

①令和元年度事業報告

- 事務局より説明
- 質疑応答 なし

②令和2年度事業計画

- 事務局より説明
- 質疑応答

- ・新規事業「世界遺産関連文化財指定促進事業」「地形伸縮状況調査事業」について
→ 世界遺産関連文化財指定促進事は、熊野参詣道の保存活用計画を作成するための予算。
県外の委員もいるため、コロナの影響で委員会が開催できていない。
地形伸縮状況調査事業は、熊野参詣道の現在通行止めの部分で地すべりが未だに起こっているかどうかを確認する伸縮計設置の予算。

その他意見等

- ・歴史民俗資料館運営委員会の開催について
- ・「田辺市の指定文化財」冊子の改訂及び、指定基準の考え方について
- ・建議書の提出について